

IV 患者評価とアセスメント

IV -8. 嚥下機能・栄養状態

大項目	中項目	カルテ・データ	フィジカル・スキル	レベル
□IV-8.1 嚥下機能の評価	□IV-8.1.1 歯・義歯の状態を把握できる	□ 歯・義歯の状態を確認できる	□ 患者の歯・義歯の状態を評価できる	○
	□IV-8.1.2 呼吸状態と嚥下の状態を把握できる	□ 呼吸状態と嚥下の状態を確認できる	□ 患者の呼吸状態と嚥下の状態を評価できる	○
	□IV-8.1.3 食事形態の確認ができる	□ 食事形態の状態を確認できる	□ 患者の食事形態の状態を評価できる	○
	□IV-8.1.4 食事摂取量の確認ができる	□ 食事摂取量の状態を確認できる	□ 患者の食事摂取量の状態を評価できる	○
	□IV-8.1.5 嚥下反射・咳嗽反射の状態を把握できる	□ 嚥下反射・咳嗽反射の状態を確認できる	□ 患者の嚥下反射・咳嗽反射の状態を評価できる	○
	□IV-8.1.6 反復唾液嚥下テスト (RSST) により状態を把握できる	□ 反復唾液嚥下テスト (RSST) の結果を確認できる	□ 反復唾液嚥下テスト (RSST) により患者の嚥下機能の状態を評価できる	○
	□IV-8.1.7 水飲みテスト (MWST) により状態を把握できる	□ 水飲みテスト (MWST) の結果を確認できる	□ 水飲みテスト (MWST) により患者の水分の嚥下機能の状態を評価できる	○
	□IV-8.1.8 フードテストにより状態を把握できる	□ フードテストの結果を確認できる	□ フードテストにより患者の食物の嚥下機能の状態を評価できる	○
	□IV-8.1.9 嚥下機能の簡易スクリーニングを行い嚥下機能の確認ができる	□ 患者の嚥下の状態を確認できる	□ 嚥下機能の簡易スクリーニングを行い患者の嚥下機能の状態を評価できる	○
□IV-8.2 栄養状態	□IV-8.2.1 栄養状態の簡易スクリーニングを行い状態の把握ができる	□ 栄養状態の把握ができる	□ 栄養状態の簡易スクリーニングを行い栄養状態の把握ができる	○
	□IV-8.2.2 各検査のパラメータと身体機能をもとに栄養状態を評価できる	□ カルテの各検査のパラメータをもとに栄養状態を評価できる	□ 各検査のパラメータと身体機能をもとに患者の栄養状態を評価できる	○
	□IV-8.2.3 問題点を抽出できる	□ 問題点を抽出できる	□ 患者情報より問題点を抽出できる	○
	□IV-8.2.4 低栄養状態の患者における離床のリスクを予測できる	□ 低栄養状態に関する情報がとれる	□ 低栄養状態の患者における離床のリスクを予測できる	☆
	□IV-8.2.5 低栄養状態の患者における離床時の工夫と対処法を説明できる	□ 低栄養状態の患者における離床時の工夫と対処法を説明できる	□ 低栄養状態の患者における離床時の工夫と対処法を説明できる	☆

情報の統合

抽出された問題点
(P189にあるV章問題点抽出シートへも転記する)